

令和8年度 総合的な学習の時間全体計画

江戸川区立篠崎第四小学校

校長名 鈴木 宏美

名称：総合的な学習の時間

学校の教育目標	よく考え、つくり出す子 みんなとともにのびる子 たくましく生きる子
----------------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 広い視野から自分なりの課題を見付け、学習計画を立てることができる。
- 2 必要な情報を収集、整理し、活用しながら学習することができる。
- 3 人とのかかわりを通して自分の考えを深めることができる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
人とのかかわりを通して自分の考えを深めることができる。	目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
学んだことを自分の生活や学習に生かすことができる。	学んだことを自分の生活や学習に生かすことができる。
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
自らの行為について意思決定する。	目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	・自分たちが住んでいる地域や町 ・情報リテラシーとICT ・地域在住の風づくり名人	・地域のもつよさや暮らしの様子 ・ICTの活用方法や、情報リテラシーについて学ぶ ・風づくり体験
第4学年	・成長した自分と人との関わり ・情報リテラシーとICT ・福祉について理解を深める	・成長した自分と周りの人々とのかかわりについて考える ・情報リテラシーを身に着け、ICTを活用して調べたことをまとめる ・疑似体験を通して福祉の必要性を考える
第5学年	・マーチングを引き継ごう ・ウィンタースクールに向けて ・地域の中で自分のできること	・6年生からマーチングを引き継ぐ ・合宿を通して集団行動や自主自立の大切さを学ぶ ・地域のことを調べ、自分たちのできることを考える
第6学年	・日本や世界の国々やその文化調べ ・マーチングで絆を深めよう ・日光移動教室に向けて	・日本や世界の国々やその多様な文化の特徴、文化体験 ・各自の役割を全うし、全員で音やリズムを合わせる ・土地の特徴や歴史について調べる

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・各学年で「情報教育」「ふれあい」「個人テーマ」「学年テーマ」としての取り組みを行う。	・児童に課題意識をもたせる支援 ・個に応じた指導の工夫 ・体験学習の重視 ・協同的な学習活動の充実 ・教科と関連的な指導の重視	・地域の人材の活用 ・担任以外の教職員による支援体制づくり	・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の充実

